

---

## IP Multicast Initiativeにエグゼクティブメン バーとして参加

---

1997年8月15日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社:東京都、社長:鈴木幸一)は、IP Multicast Initiative(IPMI)にエグゼクティブメンバーとして参加致しました。

IPMIは、IP Multicast技術の普及・促進を目的として、1996年10月に米国にて設立された業界団体であり、現在ハードベンダー、ソフトベンダー、ISPなど70社以上の企業が参加しています。IIJは、アジア太平洋地域からはじめてIPMIへ参加した企業となります。

IP Multicast技術は、大容量コンテンツ(動画、音声、プッシュ型アプリケーション、データベースやソフトウェアなど)を配信するための技術として現在、注目を集めています。これまでのインターネット上のコンテンツ配信と異なり、複数の受信者に対して、データ送信側は一度だけの送信で完了するため、ネットワークやサーバへの負荷を劇的に軽減、限られたネットワーク資源を効率的に利用することが可能になります(添付参照)。

IIJはこの7月、「IPマルチキャスト通信サービス(仮称)」の試験提供を開始致しました。ダイヤルアップ接続まで含めた、エンドユーザまでのマルチキャスト配送のサービス化は本サービスが世界で初めてとなります。こうした経験と蓄積をもとに、IIJは他メンバーと連携を取りながらIP Multicast技術の普及・促進を積極的に行なっていきます。

---

### <添付> IPマルチキャストについて

通常のインターネット上の通信は、サーバとクライアントが一对一で通信する「ユニキャスト」で行われています。この方式だと、100人のユーザが同時にアクセスすると、サーバからは同時に100個の同じデータが送信されることになり、ネットワークの帯域や、サーバの性能にボトルネックが生じやすくなります。

IPマルチキャストを利用すれば、こうしたボトルネックを緩和することが可能です。送信者は、特定のマルチキャストアドレスに向けて1個のデータを送信するだけで構いません。あとはマルチキャスト通信網が、そのマルチキャストアドレスの受信を希望するユーザの存在する方面へデータを自動的に配信、必要に応じてデータをコピーしてユーザの手元に届けます。

以上

---